



和泉市 消防団だより

第2号発行

■和泉市消防団本部■
和泉市一条院140-2
(代)0725-41-0119
(直)0725-41-6287

平成27年度全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ!



消防出初式

平成二十七年新春恒例となつた「消防出初式」が、十一月十一日(日曜日)午前九時三十分から和泉市和気町にあります和泉市立市民球場にて行われました。当日は例年になく朝から太陽が照り温かさを感じる消防出初式となりました。



消防出初式が、この市民球場で行われるのもよくあつてもう一度程度と考えています。それもそのはず和泉市立病院の建設や榎尾川公園の整備事業が始まるからです。

消防団長の開式宣言に始まり、信太山自衛隊音楽隊の演奏により消防団員三百五十三名参加のもと分列行進及び消防車両の視閲また、幼年消



HISAE バトン 演技



防クラブ員による鼓笛演奏さらにはチアリーディング演技・バトンを演じていただき新春にふさわしい華を添えていただきました。

最後に横尾川河川敷での消防車両三十九台による一斉放水訓練等を大空に向け行いました。



O.S.C チアリーディングクラブ演技

防災訓練

平成二十六年十一月二日、南横山・横山校区を対象にした「和泉市地域防災訓練」を実施、総勢約六百人が来場し訓練に参加されました。



毎年の恒例となつています消防出初式を通じまして、市民の皆様への防災・減災に対する意識の高揚を図ることはもちろんのこと、南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震に對し、日頃からの備えを整え防災関係機関等の協力体制の確立とともに、先ずは自助・共助として公助との連携を構築し「備えあれば憂いなし」を実行していく必要が益々重要となつていふと思ひます。



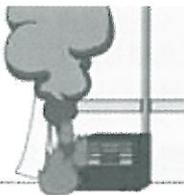
震度六弱の地震を想定し、各町単位での安否確認、訓練会場までの避難、避難所開設訓練のほか、初期消火、応急手当・負傷者搬送、煙体験訓練を行いました。また防災関係機関との連携の充実も図りました。その他、炊き出し訓練、地震体験、耐震診断相談、各種防災啓発コーナーを設置し市民の防



救出・搬送訓練

年末夜警

各地区の消防団が、地域の安全を願って年末夜警を行いました。



時期は、暖房器から火災が発生しやすい時期です。ストーブなどの取り扱いには十分注意して下さい。



また放火予防のためにも家の周りには燃えやすいものを置かないようにならして下さい。

火の用心

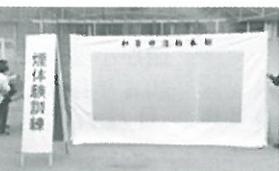
泉北地区 支部総合訓練

平成26年8月24日(日曜日)忠岡町大津川河川公園内において、多数のご来賓の出席や消防団員の訓練を見守る市民の皆様が参加する中で開催されました。

この訓練は泉北地区支部4市1町(忠岡町、堺市美原、泉大津市、高石市、和泉市)の消防団員が集まり、小型ポンプ操法、ポンプ車操法や一斉放水訓練など普段の訓練成果を思う存分に発揮・披露するものです。和泉市からは1分団から9分団まで100名の消防団員が訓練に参加しました。

事業実施・予定

- 4月1日 消防団員入団式
- 4月3日 初任団員研修会
- 5月17日 基礎教育訓練(A課程)
- 6月7日 基礎教育訓練(B課程)
- 8月23日 泉北地区支部総合訓練
- 9月6日 大阪府消防操法大会
- 10月25日 現場指揮課程
- 11月1日 和泉市防災訓練・和泉市消防団ブロック別防災訓練
- 11月8日 現場指揮課程
- 11月15日 消防団員特別訓練
- 12月28日 年末夜警
- 12月29日 歳末特別警戒激励訪問
- 12月30日 年末夜警
- 平成28年
- 1月10日 和泉市消防出初式
- 1月24日 分団指揮課程
- 2月中旬 交通安全講習会
- 3月19日 大阪府・和泉市消防表彰式



煙体験訓練



起震車による地震体験

新消防長挨拶

和泉市消防長 藤原 常一



平成二十七年四月一日付で和泉市消防長を拝命しました藤原です。伝統ある和泉市消防本部の組織を担いますことに責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いです。

消防長を拝命した初日に、本年度に新しく消防団になられた方々の入団式において「自らの地域は自らが守る」という崇高な郷土愛の精神のもとに日々地域防災に取り組んでいく新入団員の皆様の精悍な顔を見出し、心強さと頼もしさを感じました。

近年は、全国各地でいまままでに経験のしたこないような竜巻、噴火、集中豪雨、土砂崩れなどの災害が後を絶ちません。また、一昨年の十二月の臨時国会において「消防団を中核とした地域防災力の充実・強化に関する法律」が成立し、市民の皆様からの安全・安心に対する防災への関心はより一層高まっています。

そういった中で、当市においても消防団員が地域防災の中核として活動するため、法律に沿った装備の充実や処遇の改善を進めております。

また、全国的に減少傾向にある消防団員も今年度は消防団員の皆様や地域の皆様のご理解とご協力により、昨年度より増員することができました。これに気を緩めることなく、今後もより一層団員の確保に努めて参ります。

消防団員の皆様、防災に携わって頂いている関係団体の皆様、和泉市民が安全で安心して暮らせる「災害に強いまち、和泉市！」を実現していくために、共に頑張りましょう。



防災無線って何？

屋外スピーカーによって住民に対して防災情報を周知する無線放送設備。普段は住民に対するの広報に使用する。

どんな時に使うの？

災害時

風水害及び大規模災害の発生に備え、気象警報の伝達、避難所の開設、避難勧告、避難指示、国民保護情報等について放送を行います。

なお、テレホンサービスで最新の放送内容が確認できますので、事前に携帯電話等に登録しておきましょう。

平常時
交通安全・防犯・火災の注意・行事等の案内・定時メロディ(時報) 児童に帰宅を促す放送など(放送設備が正常に稼働していることを確認するための動作試験という目的で行われています)

登録方法
いずみメールで検索し必要な項目を登録して下さい。
(注) 迷惑メール対策をしている場合は、メールを受けない場合があります。



和泉市からの情報をメールでお届けします。市民の皆さんへ防災などの行政情報を配信する「いずみメール」の運用をスタートしてまいります。配信カテゴリは5つあり「防災・防犯情報」「教育・文化情報」「高齢者支援情報」「お知らせ情報」「建物・山林火災情報」です。登録料は無料ですがメール1通あたり1〜2円の通信料がかかります。

いずみメール

和泉市からの情報をメールでお届けします。市民の皆さんへ防災などの行政情報を配信する「いずみメール」の運用をスタートしてまいります。配信カテゴリは5つあり「防災・防犯情報」「教育・文化情報」「高齢者支援情報」「お知らせ情報」「建物・山林火災情報」です。登録料は無料ですがメール1通あたり1〜2円の通信料がかかります。

防災行政無線システムの紹介

情報伝達手段の充実

水位力メタ設置

横尾川北田中町「神田橋」 仏並町「大川橋」
水位の確認は、市ホームページから閲覧できます。

雨量計の設置

横山小学校を始め三か所に設置し各地の雨量を監視

赤色回転灯の設置

避難所の屋上に設置し避難所が開設していることを知らせます

南海トラフ巨大地震の発生確率

地震が発生する確率について考えて見よう
「近いうちに巨大地震が来る」と、いつも私たちは耳にしています。そして、「地震が発生する確率」に関する数値も、報道機関などにより見ることが多くなりました。そこで地震の発生確率について考えてみましょう。今後30年以内に巨大地震の発生する確率は 70%程度
平均発生間隔は 88.2年
これって高い確率でしょうか？

それでは30年以内に地震以外の災害に遭遇する確率を見ましょう。
交通事故で死亡する確率は 約 0.2%
交通事故で怪我する確率は 約 20%
火災で死亡する確率は 約 0.2%
火災で負傷する確率は 約 20%
この地震以外の災害に遭遇する確率からすると南海トラフ巨大地震が発生する確率 70%
高いのでしょうか？
それとも低いのでしょうか？
皆様は、どう感じますか？

平成27年度ポンプ操法大会



毎年9月に開催されている大阪府消防大会が、今年は9月6日(日曜日)に開催されます。泉北地区「和泉市・泉大津市・堺市・高石市・忠岡町」を代表して、第6分団が小型ポンプ操法の部に出場します。5月11日より操法訓練を開始し大会まで、約4ヶ月間に渡り厳しい訓練を行います。

がんばってください！



選手紹介

村越 昭太(和田班)、長田 陽介(万町班)、辻野 悦次(黒石班)、谷川 純(平井班)

消防操法は常備の消防職員や消防団の訓練の一つであり、基本的な操作の習得を目指すための手順であり、小型可搬ポンプ操法と、ポンプ車操法がある。ポンプ・ホースなどの操作を速く正確に行うものです。採点は各個動作の正確さ及び火点の的が倒れるまでのタイムなどが減点法で採点され、減点が少ないチームほど上位となります。

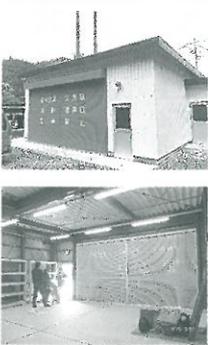
第四分団

「父鬼班」器具庫再整備

施工理由

和泉市最南端にある消防器具庫で、山林火災等有事の際には、中核となる拠点施設で、今回再整備を行いました。

平成二十六年事業「三月完成」



消防団ブロック別紹介

Aブロックの第八分団

執筆者 分団長 吉村 秀人

第八分団は、平成二十七年三月現在で二十一人の分団員で活動を行っています。消防団員は生業を持ちながらも火災発生時にはいち早く駆けつけ消火活動を行っています。毎月一回器具庫の清掃及び地域巡回を行っています。



また幸校区において地域活動に参加しており女性消防クラブ、信太山新開地共同組合と合同による初夏の防災訓練、信太山盆踊大会での夜警、秋はだんじり祭りでの警備も行っています。

年末夜警は十二月二十五日、三十一日の七日間、午後七時から翌日午前二時まで、消防車や徒歩で地元の巡回夜警を行っています。防災訓練に積極的に参加して頂き地域の皆様と消防団員と共に協力し地域の安全、安心を守るため活動していますので宜しくお願いします。

Bブロックの第二分団

執筆者 分団長 辻 俊信

第二分団は、分団幹部三名、北松尾四町会四個班四十名で団員総数四十三名消防車両四台で構成されています。

活動範囲は南北方向では北松尾校区はもとより緑ヶ丘校区から和泉中央駅周辺、弥生町まで



和泉中央線から西側の岸和田市境界までとして、火災時の消火活動、風水害時の警戒水防活動などを通して地域住民の皆様の安心安全の一助となるように日々努めています。

また、団員は消防基礎教養訓練から応用的消火訓練に至るまで訓練を重ねつつ、普通救命講習を受講しAED使用法を含む心肺蘇生法を修得しています。

十一月第一日曜日には地域防災訓練を南北松尾校区、緑ヶ丘校区の地域の皆様と同じBブロックの第三分団と共に訓練をサポートさせて頂いており、いつ・どこで、どのような起こるのか分からない災害に対応すべく地元の消防団は地域と皆様を見つめていますので今後とも宜しくお願いします。



Cブロックの第五分団

執筆者 分団長 鈴木 寅蔵

第五分団は、横山校区十二町から七十名の団員で組織され、日夜消防団活動に従事しています。

わが分団は、消火活動はもとより地域特性により横尾山人命救助及び捜索、河川氾濫時の出動等多種に渡り出動機会の有る分団です分団の訓練として、毎月の第一日曜日を訓練日と定め、南部リージョンセンターに集合し規律訓練を行い、その後横尾山下流域河川にて機械器具

消防団本部紹介

団長 山本 成男 「寺田町在住」

消防団の使命を果たすべく団員の皆さんと共にやりがいのある消防団作りを目指して頑張ります。趣味は、園芸と読書です。

副団長 小川 嘉男 「福瀬町在住」

各地区が主催する訓練等に参加し、常に地域住民との繋がりを大切にした活動を心がけています。長年の経験に基づき知識・技術を活かし安全な街づくりに貢献して行きます。

副団長 田所 一義 「府中町在住」

昭和四十九年に消防団に入団後、その間ポンプ操法大会に二度出場し良い経験をさせて頂きました。現在は仕事をしつつですが今後も団員、市民の皆様と一緒に頑張っていきます。

副団長 米田 全宏 「王子町在住」

永年勤続功労章と言う名誉ある表彰を頂き有難う御座いました。これも消防団員が丸となり消火活動等に協力して頂いたおかげと感謝しております。

副団長 萩本 忠隆 「春木川町在住」

副団長に就任して三年目になりますが今でも消防団活動の大切さを痛感しています。現在、スポーツ施設でマネージャーの生業を持ちながら頑張っています。

副団長 久保 公一 「内田町在住」

小さな自動車屋を営み、仕事の傍ら竹の子や米の栽培をやっています(採算は取れません)が、趣味は動植物が好きで中でも鳥と魚は大好きです。釣ってきた魚(今はウナギ)を家族と一緒に食べるのが楽しみです。

分団長紹介

一分団長 小寺 一明 「池上町在住」

火災の知らせるサイレン吹鳴から招集メールに替わり、環境配慮や時代の移り変わりを感じます。地域のお役に立つよう頑張っています。

二分団長 辻 俊信 「唐園町在住」

本年度より分団長に就任させて頂きました。経験不足は否めませんが、頑張っています。

三分団長 武 俊雄 「松尾寺町在住」

今年度より分団長に就任しました。さらなる消防技術の向上に努めて行きます。

四分団長 辻 守 「大野町在住」

平素から地域の皆さんとの連帯を大切に活動を行っています。消防団活動にご理解とご協力をお願いします。

五分団長 鈴木 寅蔵 「小野田町在住」

分団長就任し四年になります。これからも我が校区の安全・安心を消防団全員で守って行きます。

六分団長 中野 剛志 「和町町在住」

自分達の地域は自分たちで守るという信念のもと消防活動を行っています。

七分団長 藤原 良裕 「池田下町在住」

消防団に入団し十四年になりますが、防災に対する認識を更に高め頑張っています。

八分団長 吉村 秀人 「王子町在住」

消防団の活動は、火災、災害には必要な組織だと理解し活動しています。

九分団長 谷上 敬蔵 「上代町在住」

消防団に入り二十二年になりますが、近年異常気象が発生、より一層の防災対策が必要と思われれます。